

『リベラルアーツ学群プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この履修モデル集は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

履修モデル集は、各プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望するプログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・特に、プログラムのカリキュラムが、先修条件が設定されていて履修順序に留意する必要があるのか、比較的自由に履修できるのかで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各プログラムを修了するためにはメジャー32単位、マイナー16単位の科目を修得することが必要ですが、どのプログラムも、それを上回る数の科目を提供しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたテーマの例にそったカリキュラムを示したものです。
- ・各プログラムの「履修モデル」ページには、そのプログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目(教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目)です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、そのプログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、30のプログラムがありますが、この冊子には、各プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心あるプログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、モデルのとおり履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

言語学プログラム

履修のしかた

言語学プログラムの科目は、大きく2つに分けることができます。ひとつは共通科目に含まれる一般的な言語学に関する科目と、もうひとつは英語・中国語・日本語の各言語の言語学に関する科目です。この言語学プログラムをメジャーにする学生は、「言語の構造」が必修科目となっていて、共通科目から14単位以上、各言語の言語学に関する科目から16単位以上を取得し、合計32単位以上を取得する必要があります。マイナーの学生は、この区別に関係なくすべての科目から合計16単位以上を取得する必要があります。

共通科目以外の科目は、英語学・中国語学・日本語学の3つに分けることができます。つまり、言語学プログラムに含まれる科目は、言語学・英語学・中国語学・日本語学という4つのグループに分けることができますが、英語・中国語・日本語の区別については、特に履修要件はないので、どれか1つの言語のみを深めるように履修しても構いませんし、複数の言語から履修しても構いません。

★履修すべき科目

・専門基礎科目「言語学入門」は、必修科目「言語の構造」の先修条件になっていますので、できるだけ早い時期に単位を取得して下さい。また、同じく専門基礎科目「ことばの比較」は言語学に深い関係がありますので、できる限り履修して下さい。教職課程および日本語教員養成課程については、それぞれの『履修ガイド』を確認の上、統合領域「言語教育プログラム」の履修モデルを参照して下さい。

★履修上の注意

上述の通り、英語・中国語・日本語の枠内の科目の履修については、履修要件はありませんが、自分がどのように履修していくかについては、早い時期に履修計画を立てて下さい。特に、教職課程や日本語教員養成課程を希望する場合には、それぞれ要件が異なり、言語教育プログラムの中の科目を履修しなければならないため、十分に注意する必要があります。

★履修モデル:

- ①言語学全般を学んで言語学系大学院・マ・コミュニケーション関係などの就職を目指す人の履修モデル
- ②英語学を中心に学んで英語を使った就職を目指す人の履修モデル
- ③中国語学を中心に学んで中国語を使った就職を目指す人の履修モデル
- ④日本語学を中心に学んで日本語を使った就職を目指す人の履修モデル

*なお、教職課程(英語・中国語・国語)および日本語教員養成課程を希望する人は、それぞれの『履修ガイド』を確認の上、「言語教育プログラム」の履修モデルを参照して下さい。

他のプログラムとの関係

私たちは普段、無意識にことばを使っていますが、母語の場合は特に、その仕組みや構造に気づきません。人の本質に関わることばについて深く知ることは、コミュニケーションのとり方や外国語習得に必要な知識を学ぶことにつながります。したがって、隣接する学問領域も、言語教育・文学・心理学・コミュニケーション学・国際協力・多文化共生・データサイエンス・科学コミュニケーションなど多数あります。各自の興味に合わせて、様々なダブルメジャーやメジャー・マイナーの組み合わせが可能です。

留学・教職・資格等

★留学:LAGOプログラムやその他の長期・短期プログラムへの積極的な参加を強く勧めます。

★教職:中学校・高等学校教諭1種免許「英語」「中国語」「国語」の取得が可能です。いずれの免許も、言語教育プログラムの科目の履修が求められますので、『履修ガイド』で履修要件を確認し、「言語教育プログラム」の履修モデルを参照して下さい。

★日本語教員養成課程:45単位または26単位コースの修了証明書の取得が可能です。言語教育プログラムの履修モデルを参照し、同課程各コースの修了要件を『履修ガイド』で確認してください。

学生へのメッセージ

言語学とは、人が日常的に用いる「ことば」を科学的に研究する学問分野です。ことばとはどのようなものか、人はなぜことばを用いるのか、人はどのようにことばを使えるようになるのか、母語と外国語の違いは何なのかというような疑問に対する答を探し求める学問分野です。

言語学プログラムでは、言語知識・言語習得・言語教育などの基礎となる知識を、共通科目である言語学を通して得ながら、英語・中国語・日本語の各言語に特化した専門的な言語学の知識を得ることによって、各言語の専門家になることができます。＜共通科目＞から一定の単位数を取得して、あとは自由に選択できますので、＜共通科目＞と＜英語＞、＜中国語＞、＜日本語＞のうちの1つの言語の科目のみを履修することもできますし、＜共通科目＞と3言語から少しずつ科目を履修することもできます。それぞれの関心に応じて様々な組み合わせが可能です。その反面、自分の将来のためにはどのような選択をするべきなのかを視野に入れた上での履修が必要になりますので十分に注意して下さい。

言語学プログラム

1 言語学を中心に学ぶ学生向け履修モデル

イマ、ココで、ワタシがアナタに話しかけるところからコミュニケーションがスタートするのだとしたら、ことばを無視して心・技術・社会・環境について考えることはできません。ある個人は、日本語を身につけるべく日本人として生まれてくるわけではありません。つまり、国家の定める公用語と個人の母語とは必ずしも一致しません。また、ことばの世界は話し手の人口やその言語の学習者人口に違いが見られる格差社会です。こうして、ことばの違いは無理解だけでなく誤解や偏見をも生み出します。解剖学はことばの容れ物としての人体について知識を与えてくれますが、ことばの働きについては生理学だけでなく、ことばの使用を観察する必要があります。人文社会系の何を専攻するか悩んでいる人にとって、ことばから始めることは方向を決めるための思いがけない近道になるはずです。

以下に示すのは、言語学を学ぶ人のための履修モデルです。言語学を学ぶということは、ある特定の言語に限らず、人間固有の能力である言語の本質について深く学ぶことを意味します。英語・中国語・日本語に限らず、ほかのコンテンツ科目である社会学、心理学、情報科学、歴史学、生物学、環境学などにも眼を向けてください。具体的な将来像として、言語に関する知識を生かして出版・編集などマスコミ業界を目指す、さまざまな言語に適応できる柔軟性を武器に国際協力の方面に尽力することも考えられます。あるいは大学院に進学して教員を目指すことも可能です。

言語学プログラム科目

level カテゴリー	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
共通科目	○	編集研究	2	○	談話分析	2	○	レトリック	2			
	○	音声学	2	○	翻訳論	2	○	第二言語習得法	2			
				○	社会言語学	2						
				○	言語政策論	2						
				○	意味論	2						
				◎	言語の構造	2						
英語				○	言語データ分析	2						
	○	英語学概論	2		英語の歴史	2						
		英語の文法 I	2	○	日英対照言語学	2						
	○	英語の音声	2									
		英語の文法II	2									
中国語	○	中国語学概論	2		中国語の諸相	2						
	○	中国語の文法	2		中国語文言文・漢文入門	2						
	○	中国語の音声	2		日中翻訳技法 I	2						
					日中翻訳技法 II	2						
日本語	○	日本語学概論	2		日本語の文法	4		日本語史	2			
	○	日本語の文字・表記	2									
	○	日本語の音声	2									
		日本語表現	2									
		多文化共生とやさしい日本語	2									

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・ 言語学入門〔2〕
- ・ ことばの比較〔2〕
- ・ 専攻演習 I〔2〕
- ・ 専攻演習 II〔2〕
- ・ 卒業論文〔4〕
- ・ 国際協力フィールドワーク〔2〕
- ・ 現代コミュニケーション学理論〔2〕
- ・ 動物学 I〔2〕
- ・ 環境学入門〔2〕

言語学プログラム

2 英語学を中心に学ぶ学生向け履修モデル

この履修モデルは、大学で身につけた言語学・英語学の知識と英語運用能力を生かし、英語で仕事をしたい人向けのモデルです。読む・書く・聴く・話すの4技能の習得はもちろんのこと、英語が使われる地域の文化的、歴史的背景を知り、さらに英語を始めとする言語全般に関する知識を得ながら、コミュニケーションを円滑に行うための知識を習得することを目指します。短期・長期留学やインターンシップ、フィールドワークなどにも積極的に参加して、広い視野を身につけましょう。

なお、教職課程（英語）および日本語教員養成課程については、それぞれの『履修ガイド』を確認の上、「言語教育プログラム」の履修モデルを参照して下さい。

言語学プログラム科目

level カテゴリー	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
共通科目	○	音声学	2	○	談話分析	2	○	レトリック	2			
		創作研究	2	○	社会言語学	2	○	第二言語習得法	2			
				○	翻訳論	2						
				○	意味論	2						
				◎	言語の構造	2						
				言語データ分析	2							
英語	○	英語学概論	2	○	英語の意味	2				○	英語の構造	2
	○	英語の文法 I	2	○	英語の歴史	2						
	○	英語の文法 II	2	○	応用言語学	2						
	○	英語の音声	2	○	日英対照言語学	2						
中国語		中国語学概論	2	○	中国語文・漢文入門	2						
日本語		日本語学概論	2									
		日本語の文字・表記	2									
	○	日本語の語彙・意味	2									
		国語・漢字演習 I	2									
		国語・漢字演習 II	2									
	○	日本語の音声	2									
		日本語表現	2									
○	多文化共生とやさしい日本語	2										

その他の推奨科目 ※[]内は単位数

- ・ 言語学入門〔2〕
- ・ ことばの比較〔2〕
- ・ 専攻演習 I〔2〕
- ・ 専攻演習 II〔2〕
- ・ 卒業論文〔4〕
- ・ 英語総合演習 I A〔2〕
- ・ 英語総合演習 I B〔2〕
- ・ 英語総合演習 II A〔2〕
- ・ 英語総合演習 II B〔2〕
- ・ Oral Communication Skills〔4〕
- ・ Written Communication Skills〔4〕
- ・ 英語エレクトティブII-中級(Core Building-Listening)〔1〕
- ・ 英語エレクトティブII-中級(Core Building-Speaking)〔1〕
- ・ 英語エレクトティブII-中級(Core Building-Reading)〔1〕
- ・ 英語エレクトティブII-中級(Core Building-Writing)〔1〕
- ・ 英語エレクトティブIII-上級(Career Studies)〔1〕
- ・ 英語エレクトティブIII-上級(Global Issues)〔1〕
- ・ 英語エレクトティブIII-上級(Current Affairs)〔1〕
- ・ 英小説A/B〔各2〕
- ・ 米小説A/B〔各2〕
- ・ 英米児童文学〔各2〕
- ・ 英米演劇〔各2〕
- ・ テーマで読む英米文学〔各2〕
- ・ イギリスの文化〔2〕
- ・ アメリカの文化〔2〕
- ・ 英米文化講読〔2〕
- ・ 中国語 I〔2〕
- ・ 中国語 II〔2〕
- ・ 国際協力フィールドワーク〔2〕
- ・ 現代コミュニケーション学理論〔2〕
- ・ 対人コミュニケーションA/B〔2〕
- ・ 集団コミュニケーション〔2〕
- ・ オーラルコミュニケーション理論〔2〕

言語学プログラム

3 中国語学を中心に学ぶ学生向け履修モデル

中国語力のある一定レベルを超えて高めるためには、中国の文化に対する幅広い知識を持つことが必要不可欠です。この履修モデルは、中国語の技能的スキルを高めるとともに、中国語学・文化に関わる科目をバランスよく学ぶことで、中国文化に対する深い理解に根ざした高いレベルの中国語力を身に付けることを目指しています。本格的に中国語を学びたい人や中国に短期・長期で留学をしたいと考えている人に向いています。

中国への深い理解を伴った高いレベルの中国語力を身に付けることで、将来その語学力を生かした仕事に就く道が大きく開けてきます。

なお、教職課程(中国語)および日本語教員養成課程については、それぞれの『履修ガイド』を確認の上、「言語教育プログラム」の履修モデルを参照して下さい。

言語学プログラム科目

level カテゴリー	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
共通科目	○	音声学	2	○	談話分析	2	○	レトリック	2			
		創作研究	2	○	社会言語学	2	○	第二言語習得法	2			
				○	翻訳論	2						
				○	意味論	2						
				◎	言語の構造	2						
				言語データ分析	2							
英語		英語学概論	2									
		英語の文法 I	2									
		英語の文法 II	2									
		英語の音声	2									
中国語	○	中国語学概論	2	○	中国語の諸相	2						
	○	中国語の文法	2	○	中国語文言文・漢文入門	2						
	○	中国語の音声	2	○	中国語学研究A	2						
	○	中国語コミュニケーション技法 I	2	○	中国語学研究B	2						
		中国語コミュニケーション技法 II	2	○	日中翻訳技法 I	2						
					日中翻訳技法 II	2						
					○	日中通訳技法 I	2					
					日中通訳技法 II	2						
日本語		日本語学概論	2									
		日本語の文字・表記	2									
		日本語の語彙・意味	2									
		国語・漢字演習 I	2									
		国語・漢字演習 II	2									
	○	日本語の音声	2									
		日本語表現	2									
	多文化共生とやさしい日本語	2										

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・ 言語学入門〔2〕
- ・ ことばの比較〔2〕
- ・ 専攻演習 I〔2〕
- ・ 専攻演習 II〔2〕
- ・ 卒業論文〔4〕
- ・ 中国語 I〔2〕
- ・ 中国語 II〔2〕
- ・ 中国語 III〔2〕
- ・ 中国語 IV〔2〕
- ・ 中国近現代文学・中国語圏文学史 I【文学】
- ・ 中国近現代文学・中国語圏文学史 II【文学】
- ・ 中国地域研究 A〔2〕
- ・ 中国地域研究 B〔2〕
- ・ 中国文化概論〔2〕
- ・ 日中対照言語学〔2〕
- ・ 中国思想概論〔2〕
- ・ 国際協力フィールドワーク〔2〕
- ・ 現代コミュニケーション学理論〔2〕
- ・ 対人コミュニケーション A/B〔各2〕
- ・ 集団コミュニケーション〔2〕
- ・ 異文化コミュニケーション A/B〔各2〕
- ・ オーラルコミュニケーション理論〔2〕

言語学プログラム

4 日本語学を中心に学ぶ学生向け履修モデル

この履修モデルは、言語学・日本語学の知識を生かした分野(例えば、国語・日本語教育、新聞・テレビ・ラジオ・映画・雑誌・広告業界等)に関心をもつ学生向けのモデルです。このモデルに沿って学ぶことで、日本語を読む・書く力を養うのはもちろんのこと、日本語の文化的、歴史的背景を知り、さらに言語全般に関する知識を得ながら、コミュニケーションを円滑に行うための知識と技術を習得することを目指します。短期・長期留学やフィールドワークなどにも積極的に参加して、広い視野を身につけましょう。

なお、教職課程(国語)および日本語教員養成課程については、それぞれの『履修ガイド』を確認の上、「言語教育プログラム」の履修モデルを参照して下さい。

言語学プログラム科目

level	100			200			300			400		
カテゴリ	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
共通科目	○	編集研究	2	○	談話分析	2		第二言語習得法	2			
	○	音声学	2	○	社会言語学	2						
	○	創作研究	2	○	翻訳論	2						
				○	意味論	2						
				◎	言語の構造	2						
英語		英語学概論	2									
		英語の文法 I	2									
		英語の文法II	2									
		英語の音声	2									
中国語		中国語学概論	2		中国語の諸相	2						
		中国語の文法	2	○	中国語文言文・漢文入門	2						
		中国語の音声	2									
日本語	○	日本語学概論	2		書道研究 I	2	○	日本語史	2			
	○	日本語の文字・表記	2		書道研究 II	2						
	○	日本語の語彙・意味	2	○	日本語の文法	4						
	○	国語・漢字演習 I	2									
	○	国語・漢字演習 II	2									
		書写	2									
	○	日本語の音声	2									
	○	日本語表現	2									
	○	多文化共生とやさしい日本語	2									

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・ 言語学入門〔2〕
- ・ ことばの比較〔2〕
- ・ 専攻演習 I〔2〕
- ・ 専攻演習 II〔2〕
- ・ 卒業論文〔4〕
- ・ 日本語の多様性と社会〔2〕
- ・ 現代作家研究〔2〕
- ・ 現代作品研究〔2〕
- ・ 人文探究(児童文学を読む)〔2〕
- ・ 言語から考える日本文化〔2〕
- ・ 国際協力フィールドワーク〔2〕
- ・ 現代コミュニケーション学理論〔2〕
- ・ 集団コミュニケーション〔2〕
- ・ オーラルコミュニケーション理論〔2〕